

航空宇宙医師 (Flight Surgeon) 業務支援医師 募集要項

1. はじめに

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下、「JAXA」）では、JAXA 宇宙飛行士及びその候補者（以下、「宇宙飛行士」）の健康管理に係る業務を行う航空宇宙医師（以下、「FS」）を目指せる人材の確保策の一つとして、FS の業務を支援して下さる医師（以下、「FS 業務支援医師」）を常時募集します。

2. 委嘱予定人員

若干名

3. 業務内容等

(1) JAXA の客員（4 項参照）として、以下の FS 業務の支援等を行うとともに、これらを通じて将来 FS になることを見据え総合診療能力の研鑽をしていただきます。

- ① 宇宙飛行士の年次医学審査のための資料作成
- ② 宇宙飛行士健康管理運用に係る国際調整への対応及びテレコン等への出席
- ③ JAXA が実施する宇宙医学研究開発に対する助言

(2) FS 業務支援医師としての委嘱は、FS 候補者または FS としての採用を確約するものではありません。

※ FS の業務及び FS 認定までの流れ：別添をご参照ください。

4. 処遇

(1) 身分

JAXA の客員として委嘱いたします。

(2) 委嘱期間等

1 事業年度内の期間とします。原則として、月 3 回程度以下の頻度で勤務いただきます。

1 事業年度を越えて委嘱を更新することは可能です。その際には、年度ごとに更新の可否の評価を行います。

なお、国際宇宙ステーション計画または JAXA の計画変更や予算等の制約により、本公募を中止すること及び客員の更新を行わないことがあります。

(3) 謝金

12,000 円／回（交通費は別途支給）

(4) 主な勤務地

JAXA 筑波宇宙センター
(茨城県つくば市千現2-1-1)

(5) 待遇

客員に係る健康保険、厚生年金保険、厚生年金基金、雇用保険介護保険及び労働者災害補償保険については JAXA において加入せず、その事業主負担経費も、JAXA において負担しないものとします。

5. 応募資格

- (1) 日本の医師免許を有すること。
- (2) 宇宙航空分野以外の専門性を身に着けている（いずれかの専門医または認定医の資格を取得済みである）こと。
- (3) 国外関係機関と円滑な意志の疎通が図れるよう、英語が堪能であること。

6. 求める人材像

- (1) 国内外の関係者と調整して業務を遂行できる協調性の高い方
- (2) FS 業務に関心を持ち、FS を将来のキャリアパスの一つと位置づけることが可能な方

7. 選考方法

- (1) 選考種目：書類選考および専門面接
- (2) 専門面接の場所：JAXA 筑波宇宙センター（茨城県つくば市）を予定。
※面接は、オンラインでの実施の可能性もあります。
- (3) 専門面接は、日本語にて行います。
- (4) 選考に係る通信費・交通費・宿泊費等は全て自己負担となります。

8. 選考に係る結果の通知及び着任時期

- (1) 結果の通知：専門面接から1か月程度後に書面により通知します。
- (2) 着任時期：結果通知後、現所属機関等との調整完了次第

9. 応募手続

(1) 応募書類

- ① 志願書（JAXA 指定用紙）
- ② 自己アピール資料（任意提出。様式指定なし）
- ③ 代表的な論文1編の写し（任意提出）
- ④ 医師免許証の写し
- ⑤ 専門医又は認定医の資格を有することを証明する書類
- ⑥ 英語能力を示す認定証等（資格等を有する場合）

(2) 応募書類用紙の請求方法

下記 JAXA ホームページ「FS 業務支援医師 募集画面」から、志願書をダウンロードしてください。

<http://iss.jaxa.jp/med/fsgyoumushien.html>

(3) 応募書類提出先

応募フォームよりお送りください。

応募書類はまとめて、1つの ZIP ファイルにしてアップロードください。

なお、押印が必要なものは、直筆のサインまたは電子署名でも問題ございません。

(4) その他

- ・ 応募書類は返却いたしません。

10. 問合せ先

業務内容その他本募集に関するご質問等は、以下までお問い合わせください。

TEL : 050-3362-2587 (平日 10:00~17:30)

E-mail : FS-JIMUKYOKU@jaxa.jp

(迷惑メール防止のため“@”は、全角にしています。メール送信の際は半角に直してお送り下さい。)

<個人情報の利用目的について>

JAXA の選考に関連して提供された個人情報については、書類選考、筆記試験、面接試験等の選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き全ての個人情報を責任を持って破棄いたします。

◆ フライトサーजनとは

フライトサーजन (Flight Surgeon: FS) とは、航空宇宙医学の知識を持ち、パイロットや宇宙飛行士の健康管理さらに航空宇宙医学の研究を行う専門医のことです。

◆ FS の責任と役割

FS の役割は、宇宙飛行士の健康を維持することです。宇宙飛行士の選抜から始まり、定期的な医学検査、飛行前／飛行中、リスクの高い地上訓練時、飛行直前検査)、打上げ時の医学支援、飛行後の医学検査、飛行後のリハビリテーションなど、宇宙飛行士の健康を長いスパンにわたって管理します。

FS は、JAXA の常勤職員として、以下の職務を行っています。

- 宇宙飛行士の医学基準、医学運用手順を国内・国際調整を経て設定。
- 宇宙飛行士の日常健康管理・年次医学検査・医学審査準備。
- 宇宙飛行士の訓練時の医学管理と緊急時対応。
- ミッションに任命された宇宙飛行士の専任の医師として、ミッション前後の医学検査・健康管理の実施とミッション中の医学運用・緊急時対応。
- 宇宙飛行士候補者の募集・選抜のうち、医学及び心理学試験。
- 健康管理運用上の課題解決のための研究

◆ FS の勤務地

日本（筑波宇宙センター）を本拠としますが、宇宙飛行士等の健康管理、国際調整等のため長期間海外（米国、ロシア）での業務があります。

◆ 国際宇宙ステーション長期滞在ミッション中の FS の職務内容概要

宇宙飛行士の打上げ前 10～14 日頃から、FS は主治医として宇宙飛行士に同行し、打上げ地で飛行直前の毎日、健康状態の確認を行い、宇宙飛行士の身体面・精神面を注意深く観察します。

宇宙飛行士が国際宇宙ステーションにいる間は、FS は NASA ジョンソン宇宙センター (JSC) のミッションコントロールセンター (MCC-H) で宇宙飛行士の健康状況をモニタし、必要に応じて介入を行います。

帰還時には、FS は、帰還地で宇宙飛行士を迎え、帰還直後の医学検査を行います。そして帰還後のリハビリテーションでは、規定の医学検査を行うほか、リハビリテーション計画にも参加します。

◆ FS 認定までの流れ

FS認定を受けるには、JAXA 招聘職員として採用された後、FS 候補者として航空宇宙医学に関する専門的な知識及び経験を取得するため、国内及び米国にて研修を受けていただきます（通常、半年～1年間程度）。

FS として認定された後、FS としての職務を行います。その後、JAXA の採用プロセスを経て正職員として採用されます。

◆ FS にかかる情報は、下記のホームページもご参照ください。

<http://iss.jaxa.jp/med/healthcare/supporting/>

<http://iss.jaxa.jp/med/healthcare/supporting/surgeon/>